

## 医学用語あれこれ 17



浜口 恵子

お元気ですか。この連載も、もう17回を数えます。覚えておいた方がいいと思われるものはだいたい書いたつもりなのですが、見直してみると、やはりポツポツと抜けています。今回は、抜けていると気づいたものの中で、知っておいたら便利と思われるものをピックアップしました。

- ect/o : 外部、外へ、表面の
- end/o : 内部、内へ、内の
- mes/o : 中、中間部、中央の
- retr/o : 後部、後方、後へ
- par/a : 周囲、付近、側の

これらは、場所を表す連結形ですが、辞書によっては接頭辞と書いてあるものもあります。接頭辞的な使い方をする場合が多いのでそうになっているのだと思います。場所を表す接頭辞を見たときに一緒に見ておけば、まとめて覚えられたのに、抜かしてしまいました。

cornea は角膜を表す名詞ですが、ect/o/cornea で角膜の表層、角膜上皮という語ができます。parasite は寄生虫を指しますが、ect/o/parasite で体表面に生息する寄生虫、外(部)寄生虫を表します。placent/al は胎盤のという形容詞ですが、ect/o/placent/al で胎盤外膜の、栄養膜のということになります。ect/o/crani/al は頭骨外面の、頭蓋外のです。ect/o/periton/itis は外腹膜炎で、内臓または腹壁に隣接する腹膜の深層から生じる炎症を意味します。

-scope はギリシア語の skopeo 見るからきた語で、一般には見るための機器を指す接尾辞ですが、end/o に続けて end/o/scope とすると内部を見る機器、つまり内視鏡とい

うことばができます。end/o/scop/y は内視鏡検査(法)です。end/o/abdomin/al は腹内の、end/o/bronchi/al は気管支内の、end/o/gastr/ic は胃内のとなります。end/o/gastr/itis は胃粘膜炎、end/o/card/itis は心内膜炎、end/o/angi/itis は血管内膜炎、end/o/metr/itis は子宮内膜炎です。

carp/al は手根(骨)の、手首のという形容詞ですが、mes/o/carp/al で中手根の、中手根骨のという語ができます。mes/o/cec/al は盲腸間膜の、mes/o/cecum は盲腸間膜です。mes/o/col/ic は結腸間膜の、mes/o/colon は結腸間膜です。tendon は腱を指しますが、mes/o/tendon で腱間膜となります。mes/o/metr/itis は子宮筋層炎、mes/o/bronch/itis は気管支中膜炎、気管支筋層炎、mes/o/phleb/itis は静脈中膜炎です。

pharynx は咽頭を意味しますが、retr/o/pharynx で咽頭後部となります。retr/o/periton/itis は後腹膜炎、腹膜後炎です。retr/o/placent/al は胎盤後(方)の、retr/o/cec/al は盲腸後(方)の、retr/o/stern/al は胸骨後(方)のを表します。

ganglion は神経節という名詞ですが、par/a/ganglion で旁神経節という意味になります。par/a/gangli/oma で旁神経節腫です。par/a/hepat/itis は肝周囲炎、par/a/metr/itis は子宮旁組織炎、par/a/neph/itis は腎旁組織炎、par/a/pleur/itis は胸壁胸膜炎、par/oophor/itis は卵巣旁組織炎、par/ovar/itis は副卵巣炎、par/onych/ia は爪周囲炎となります。

書き忘れていたものが、探せばまだまだでてくるかもしれません。見直しの必要がありそうですね。では、また次回に。